

住民との響働による総合事業の新たな展開 ～人と人がつながり未来へ～(奈良県生駒市)

取組概要

要支援者の生活機能低下者を早期発見し、短期・集中的なサービス提供(通所型・訪問型サービスC)に加え、並行して虚弱高齢者や元気高齢者が地域の中で互いに支え合える仕組みづくりを構築し、健康寿命の延伸、総事業費の低減につながっている。

人口 120,596人 (H30.1.1現在)

担当 地域包括ケア推進課



社会福祉士、地域包括ケア推進課 (通所型C)

取組の効果

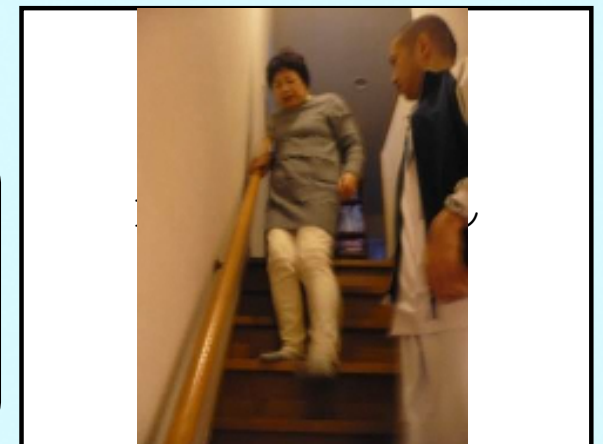
- ・ 従前の介護予防通所介護サービスに比べ3年間で約1億4千万円の事業費削減(試算)
- ・ 介護認定率が15.6%(H26.4.1)から14.0%(H30.4.1)に低減

創意・工夫した点

要支援者が自立し、担い手に様変わりすることに重点を置いた施策展開を進めながら、健康寿命を後押ししている。

他団体へのアドバイス

地域に入り込み、ワークショップを重ね、住民が主体となって運営する事業を創出するお手伝いは福祉発信のまちづくりにつながる。



理学療法士が階段の下り方を指導 (訪問型C)